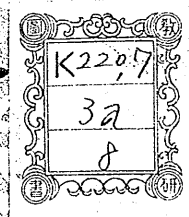


著 邦 雅 本 橋

帖 畫 筆 毛 等 中

卷 八 第

局 書 圖 外 中 社 會 式 株



116-542

例言

一本帖は改正中學校令及び師範學校令に準據し圖畫科の教科用書に充てんが爲め編纂したるものなれば各種中學の圖畫科臨本として最も適良なるものと確信す。

一本帖は別ちて八卷とし各學年に二卷を配當するものとせり而して一二兩卷は畫題を多くし漸く進むに従つて次第に之を減じたり是れ上級に至るに従ひ寫生應用圖案等を課するものと多ければなり然れども教授者の適宜を以て畫題を取捨するは編者の望むところなり。

一本帖の畫題は學生をして寫生に便ならしめんが爲め特に氣候の順序を逐うて撰定したり。

一本帖編纂の順序は初學に便せんが爲め先づ簡易なる形體より始め漸次綿密なる寫生體に移り更に進みて濃淡彩色に及ぼしたり是れ最初十分に其手腕を練習して筆力を雄健ならしめ且種々の形體を自在に畫き得る技能を養生し以て創造工風の心力と周到綿密なる思想の發達とを促し遂には幽玄審美なる性情と高尚優雅なる氣風とを陶冶せんことを期したればなり。

一本帖を教授するの参考に供せんが爲め別に教師參考書を編して運筆の順序方法より彩色の注意及び寫生の應用に至る迄最も丁寧深切に編述せり教師諸君彼此互に参照せば其益蓋し尠少にあらずるべし

編者識

中等學校用書 圖畫科 第一卷

目次

明治

88 3 23

丙午

達とを優し遂には幽玄審美なる性情と高尚優雅なる氣風とを陶冶せんことを期したればなり。

一本帖を教授するの参考に使せんが為め別に教師参考書を編して運筆の順序方法より彩色の注意及び寫生の應用に至る迄最も丁寧深切に編述せり。教師諸君彼此互に参照せば其益蓋し尠少にあらずるべし

編者識

中

等毛筆畫帖第八卷



明治

38 3 23

丙午

第壹課

猿

第貳課

桔梗

第三課

秋色

第四課

騎馬

第五課

雪中の山水

第六課

虎

第七課

猿廻

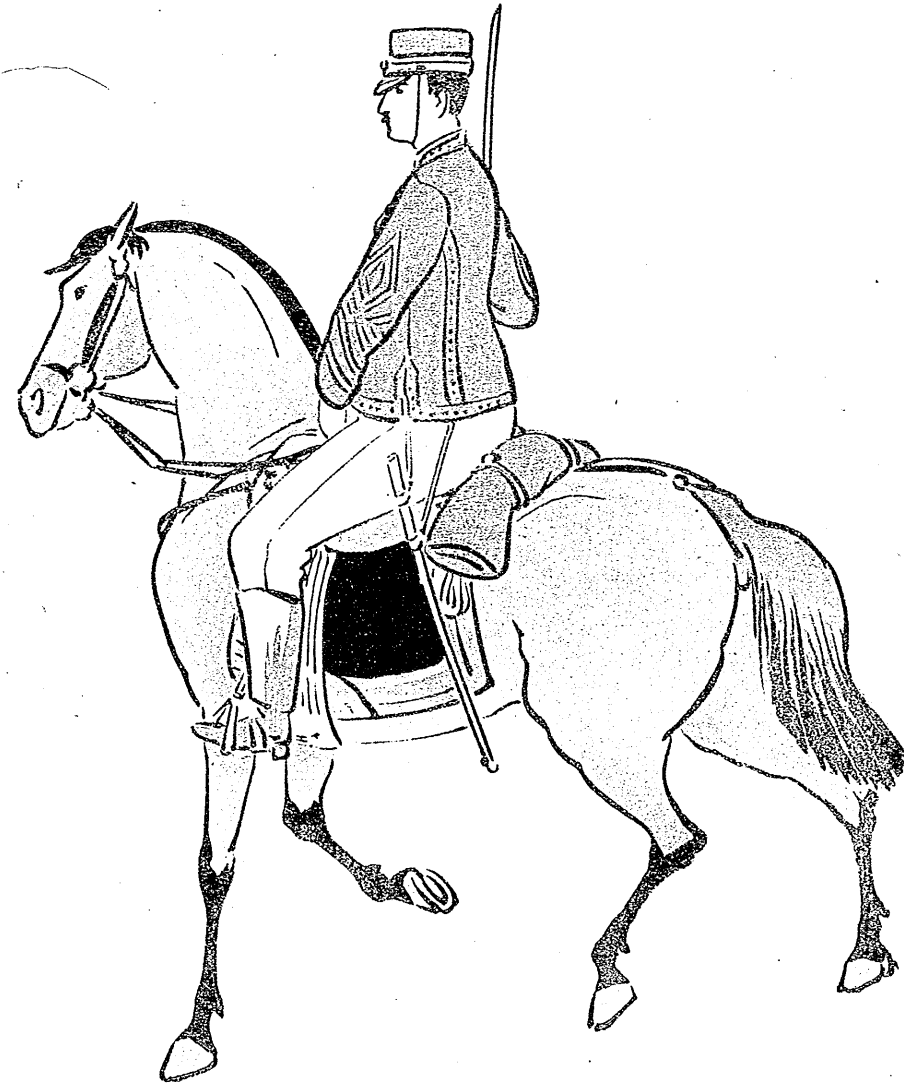
第八課

村落

















明治三十五年九月十六日 文部省檢定 (中學校圖畫科用)

來許複製

明治三十五年一月廿九日印
 明治三十五年二月一日發
 明治三十五年八月三十日訂正再版印刷
 明治三十五年九月二日訂正再版印刷
 明治三十八年三月二十三日三版發行

(中學校畫帖與付)

定價	定價	定價	定價
壹圓	壹圓	壹圓	壹圓
壹圓	壹圓	壹圓	壹圓
壹圓	壹圓	壹圓	壹圓

著者 橋本雅邦

發行兼印刷者 株式會社中外圖書局
 東京市日本橋區城邊河岸五丁目

專務取締役

代表者 高瀬真卿

彫刺者 江川八左衛門

同 五島德次郎

發賣所 株式會社中外圖書局
 東京市日本橋區城邊河岸五丁目

